

基本的な方向性	テーマごとの審議や実施したモデル事業・視察等	キーワード	事業案・担い手(実施主体)
<p>地域力を強化し、つながりが実感できるまちをめざす</p> 	<p>○長屋のリノベーション後に新しく移り住んだ人々の事例では、無関係でない同じ建物のお隣という感覚で災害時にも声掛けするなどつながりができている。 また、レトロな紡績工場を活用した「スピニングミル」など、古くから近隣に親しまれた建物の外観を残すことで、まちや人がつながりやすいという効果がある。 ○地域に住む人々が、まちと関わりを持とうという意識を持ち、小さなことからでも行動しながら住むことでまちが良くなっていく。 そのような意識や行動は、「郷土愛の醸成」にもつながる。 ○防犯や防災訓練など、地域の人々が同じ方向性をめざしやすい取組から始めることが重要。その場合、若者を呼び込み多様な世代で関わる仕組みの構築が望ましい。</p> <p>モデル事業 「大道筋まちのデザインcafe」</p>	<p>FW「スピニングミル」</p> <ul style="list-style-type: none"> ・リノベーション ・レトロな建物 ・小さな行動 ・防犯・防災 ・世代交流 	<p>例えば…</p> <ul style="list-style-type: none"> ・若い世代を地域の担い手に育成できないか？
<p>働きやすい環境を整備し、起業しやすいまちをめざす</p> 	<p>○事務所・休憩所・トイレなどをきれいにし働きやすい環境を整えることが重要。それだけで若者が集まり、伝統産業などの後継者の育成にもつながる。堺区なら職住近接も多い。一方、中小企業では、環境整備には資金面で難しいところもある。 ○子育て中の女性と企業のニーズにミスマッチを感じる。それを埋める取組が必要。 ○堺区には空き家や空き店舗などが多くあり、借りたい人(起業者)と貸したい人(家主)とのニーズを組み合わせるマッチングする仕組みがあればよい。 ○睡眠・食事・運動と仕事とのバランスがとれた健康的な働き方の実践が重要。中小企業などの経営者はもとより、就労者にもその重要性を働きかける取組が必要である。</p> <p>モデル事業 「サカイサンセットガーデン」</p> <p>先進事例視察「北浜テラス」</p>	<p>FW「タマノイ酢」</p> <ul style="list-style-type: none"> ・職住接近 ・ワークライフバランス ・伝統産業の職場環境 ・子育て(介護) ・メンタルヘルス 	<p>「働きやすい環境の整備」に外部からアプローチできることはあるか？</p>
<p>郷土愛を醸成し、ホスピタリティ豊かなまちをめざす</p> 	<p>○仁徳陵など世界で一番のものが身近にあるというのは、まちとしての強みである。生活圏のなかで誇りや愛着を持つものがあれば「郷土愛の醸成」につながる。 ○堺から出た人々の郷土愛の希薄さが、ふるさと納税からも見えてくる。郷土愛の醸成は本来大変時間のかかるものと思うので、感受性の強い子どもときの教育はとても重要である。 ○「まずは知ること・知ってもらうこと」が重要。また、挨拶やおもてなしなど、来訪者にとって、その土地の人々との触れ合いが結果的に良いまちの印象を残すように思う。</p> <p>モデル事業 「子ども観光ガイド」</p> <p>FW「妙法寺(堺asobi)」</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ナンバーワン ・おもてなし ・まずは知ること ・子どもの感受性 ・移り住んで来た人々 ・スポーツ 	<p>・おもてなし×世界遺産のあるまち×シビックプライド＝？</p>



